

# ダイワ米国リート・プラス

(毎月分配型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし  
(年2回決算型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし

## 運用報告書(全体版)

毎月分配型

第52期(決算日 2020年9月28日)  
第53期(決算日 2020年10月26日)  
第54期(決算日 2020年11月26日)  
第55期(決算日 2020年12月28日)  
第56期(決算日 2021年1月26日)  
第57期(決算日 2021年2月26日)

年2回決算型 第10期(決算日 2021年2月26日)  
(作成対象期間 2020年8月27日~2021年2月26日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	約10年間(2016年3月1日~2026年2月26日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(米ドル建)	
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3292>  
<3293>  
<5692>  
<5693>

（毎月分配型）為替ヘッジあり

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					公 社 債 入 比 率	純 資 産 額
	( 分 配 落 )	税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率			
	円	円		%	%	百万円	
28期末 (2018年9月26日)	10,739	90	△	2.5	99.6	2,038	
29期末 (2018年10月26日)	10,478	90	△	1.6	99.1	1,991	
30期末 (2018年11月26日)	10,395	90		0.1	98.2	2,003	
31期末 (2018年12月26日)	9,438	90	△	8.3	96.5	1,830	
32期末 (2019年1月28日)	10,175	90		8.8	98.1	1,970	
33期末 (2019年2月26日)	10,561	90		4.7	97.7	2,106	
34期末 (2019年3月26日)	10,631	90		1.5	98.0	2,202	
35期末 (2019年4月26日)	10,632	100		1.0	96.2	2,758	
36期末 (2019年5月27日)	10,655	100		1.2	96.5	3,591	
37期末 (2019年6月26日)	10,578	100		0.2	95.6	5,623	
38期末 (2019年7月26日)	10,494	100		0.2	97.2	7,237	
39期末 (2019年8月26日)	10,616	100		2.1	96.6	8,768	
40期末 (2019年9月26日)	10,809	100		2.8	96.9	11,047	
41期末 (2019年10月28日)	10,761	100		0.5	98.4	12,742	
42期末 (2019年11月26日)	10,411	100	△	2.3	98.4	13,074	
43期末 (2019年12月26日)	10,431	100		1.2	97.8	13,669	
44期末 (2020年1月27日)	10,778	100		4.3	97.7	14,504	
45期末 (2020年2月26日)	10,638	100	△	0.4	97.2	14,867	
46期末 (2020年3月26日)	6,342	100	△	39.4	96.0	9,101	
47期末 (2020年4月27日)	7,360	100		17.6	97.8	10,953	
48期末 (2020年5月26日)	7,433	100		2.4	98.6	11,204	
49期末 (2020年6月26日)	7,912	100		7.8	98.1	12,361	
50期末 (2020年7月27日)	8,036	100		2.8	98.0	12,705	
51期末 (2020年8月26日)	8,221	100		3.5	99.8	13,755	
52期末 (2020年9月28日)	7,837	100	△	3.5	98.1	13,377	
53期末 (2020年10月26日)	8,006	100		3.4	98.1	13,549	
54期末 (2020年11月26日)	8,338	100		5.4	98.2	13,772	
55期末 (2020年12月28日)	8,256	100		0.2	98.3	13,655	
56期末 (2021年1月26日)	8,428	100		3.3	99.4	13,660	
57期末 (2021年2月26日)	8,516	100		2.2	100.4	13,335	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

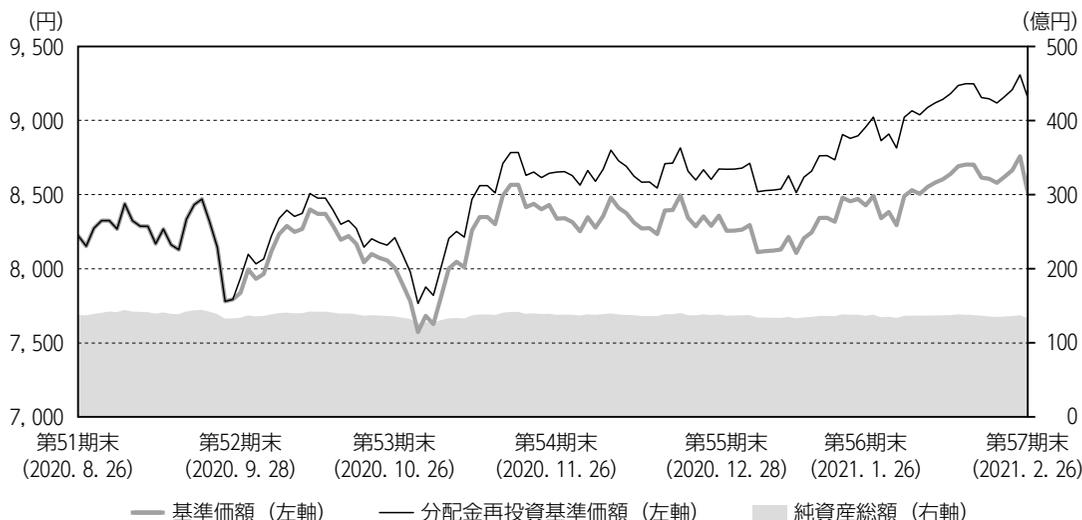
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第52期首：8,221円

第57期末：8,516円（既払分配金600円）

騰落率：11.4%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国リートおよびバンクローン市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 社 債 入 比 率
		騰 落 率		
第52期	(期首) 2020年8月26日	8,221	—	99.8
	8月末	8,325	1.3	98.1
	(期末) 2020年9月28日	7,937	△ 3.5	98.1
第53期	(期首) 2020年9月28日	7,837	—	98.1
	9月末	7,932	1.2	98.4
	(期末) 2020年10月26日	8,106	3.4	98.1
第54期	(期首) 2020年10月26日	8,006	—	98.1
	10月末	7,682	△ 4.0	97.3
	(期末) 2020年11月26日	8,438	5.4	98.2
第55期	(期首) 2020年11月26日	8,338	—	98.2
	11月末	8,315	△ 0.3	97.5
	(期末) 2020年12月28日	8,356	0.2	98.3
第56期	(期首) 2020年12月28日	8,256	—	98.3
	12月末	8,264	0.1	98.0
	(期末) 2021年1月26日	8,528	3.3	99.4
第57期	(期首) 2021年1月26日	8,428	—	99.4
	1月末	8,383	△ 0.5	99.2
	(期末) 2021年2月26日	8,616	2.2	100.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 8. 27 ~ 2021. 2. 26）

### ■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2020年9月にかけての米国リート市場は、米国大統領選挙を前にした警戒感の高まりなどから、軟調に推移しました。10月前半は、翌月の米国大統領選挙で民主党が勝利し、大規模な財政政策が実施されるとの期待感などから、米国リート市場は上昇しました。10月後半は、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大および広範な行動規制の再開などから世界経済停滞の懸念が広がり、米国リート市場は下落しました。11月に入ると、米国大統領選挙が大きな波乱もなく終了したことなどから堅調に推移しましたが、米国の大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことを発表すると、これまで新型コロナウイルスの影響を受けて大きく下落していたショッピングモールやホテル関連のリートが大きく上昇する一方で、堅調に推移してきた通信インフラやデータセンター、物流施設などのリートは下落傾向となりました。12月から当作成期末にかけては、長期金利の動向により上下したものの、市況はおおむね横ばいでの推移となりました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

企業の決算が市場予想を上回る傾向が継続したほか、新型コロナウイルス対策として多くの企業が流動性の確保やコストカットなどに努めたことが好感され、当作成期首より米国バンクローン市場は上昇しました。また、CLO（ローン担保証券）からの需要が回復する一方、新規発行は減少傾向となるなど、需給環境に大きな緩みが見られなかったことも支援材料となりました。2020年11月に入り米国大統領選挙が無事終了すると、政治的な不透明感が後退したことに加え、新型コロナウイルス用ワクチンの早期実用化期待が高まったことなどから、米国バンクローン市場は一段と上昇して当作成期末を迎えました。

### ■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国は政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を0.00~0.25%で維持しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

（2020. 8. 27 ~ 2021. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	2020年8月27日 ～2020年9月28日	2020年9月29日 ～2020年10月26日	2020年10月27日 ～2020年11月26日	2020年11月27日 ～2020年12月28日	2020年12月29日 ～2021年1月26日	2021年1月27日 ～2021年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率 (%)	1.26	1.23	1.19	1.20	1.17	1.16
当期の収益 (円)	68	70	70	63	68	69
当期の収益以外 (円)	31	29	29	36	31	30
翌期繰越分配対象額 (円)	3,684	3,654	3,625	3,590	3,559	3,529

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 68.17円	✓ 70.36円	✓ 70.15円	✓ 63.40円	✓ 68.32円	✓ 69.67円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 3,715.96	✓ 3,684.59	✓ 3,655.28	✓ 3,627.41	✓ 3,590.87	✓ 3,559.53
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,784.13	3,754.96	3,725.44	3,690.82	3,659.19	3,629.21
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,684.13	3,654.96	3,625.44	3,590.82	3,559.19	3,529.21

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第52期～第57期 (2020. 8. 27～2021. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,286円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.634	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

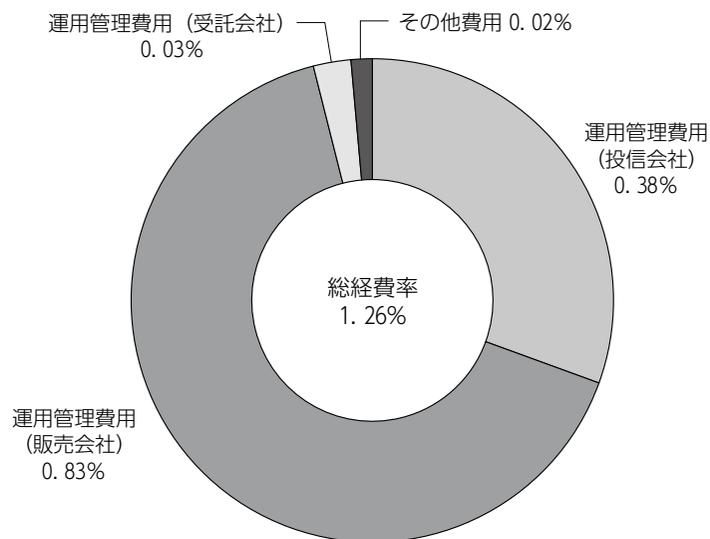
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

決 算 期			第 52 期 ～ 第 57 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 8,116	千アメリカ・ドル 19,144 ( —)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。  
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

第 52 期 ～ 第 57 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc（アイルランド）2025/1/19	千円 852,573	Star Helios Plc（アイルランド）2025/1/19	千円 2,012,675

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額面金額	第 57 期 末						
		評 価 額		組入比率	うちB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 158,790	千アメリカ・ドル 125,968	千円 13,384,111	% 100.4	% —	% —	% 100.4	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

# ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

## (2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 57 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 158,790	千アメリカ・ドル 125,968	千円 13,384,111	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

## ■投資信託財産の構成

2021年2月26日現在

項 目	第 57 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,384,111	98.2
コール・ローン等、その他	246,723	1.8
投資信託財産総額	13,630,835	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.25円です。

(注3) 第57期末における外貨建純資産（13,384,162千円）の投資信託財産総額（13,630,835千円）に対する比率は、98.2%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年9月28日)、(2020年10月26日)、(2020年11月26日)、(2020年12月28日)、(2021年1月26日)、(2021年2月26日)現在

項 目	第52期末	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末
<b>(A) 資産</b>	<b>26,419,313,884円</b>	<b>27,037,189,338円</b>	<b>27,864,100,719円</b>	<b>27,469,071,314円</b>	<b>27,170,038,978円</b>	<b>26,927,841,784円</b>
コール・ローン等	357,284,057	365,647,774	425,790,310	435,406,047	356,093,747	234,654,404
公社債（評価額）	13,126,377,869	13,294,919,600	13,524,261,570	13,429,951,843	13,577,597,619	13,384,111,369
未収入金	12,929,995,231	13,369,562,834	13,905,809,236	13,594,200,128	13,225,489,918	13,297,006,461
その他未収収益	5,656,727	7,059,130	8,239,603	9,513,296	10,857,694	12,069,550
<b>(B) 負債</b>	<b>13,042,031,765</b>	<b>13,488,064,870</b>	<b>14,091,300,689</b>	<b>13,813,356,833</b>	<b>13,509,927,559</b>	<b>13,592,109,549</b>
未払金	12,849,753,373	13,279,137,449	13,859,194,581	13,533,374,055	13,223,209,956	13,359,312,180
未払収益分配金	170,695,265	169,227,258	165,180,626	165,403,005	162,071,557	156,593,749
未払解約金	5,755,853	26,273,975	52,369,714	99,155,089	110,758,132	61,230,670
未払信託報酬	15,722,032	13,234,027	14,268,918	15,038,039	13,412,263	14,401,727
その他未払費用	105,242	192,161	286,850	386,645	475,651	571,223
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>13,377,282,119</b>	<b>13,549,124,468</b>	<b>13,772,800,030</b>	<b>13,655,714,481</b>	<b>13,660,111,419</b>	<b>13,335,732,235</b>
元本	17,069,526,546	16,922,725,821	16,518,062,666	16,540,300,563	16,207,155,782	15,659,374,944
次期繰越損益金	△ 3,692,244,427	△ 3,373,601,353	△ 2,745,262,636	△ 2,884,586,082	△ 2,547,044,363	△ 2,323,642,709
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>17,069,526,546口</b>	<b>16,922,725,821口</b>	<b>16,518,062,666口</b>	<b>16,540,300,563口</b>	<b>16,207,155,782口</b>	<b>15,659,374,944口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	7,837円	8,006円	8,338円	8,256円	8,428円	8,516円

\* 第51期末における元本額は16,732,977,581円、当作成期間（第52期～第57期）中における追加設定元本額は1,632,321,116円、同解約元本額は2,705,923,753円です。

\* 第57期末の計算口数当りの純資産額は8,516円です。

\* 第57期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,323,642,709円です。

■損益の状況

第52期 自2020年8月27日 至2020年9月28日 第54期 自2020年10月27日 至2020年11月26日 第56期 自2020年12月29日 至2021年1月26日  
 第53期 自2020年9月29日 至2020年10月26日 第55期 自2020年11月27日 至2020年12月28日 第57期 自2021年1月27日 至2021年2月26日

項目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(A) 配当等収益	132,309,017円	122,623,713円	118,241,111円	120,125,848円	114,145,006円	114,561,859円
受取利息	131,060,006	121,243,731	117,085,388	118,904,585	112,827,723	113,391,476
その他収益金	1,260,981	1,384,772	1,162,724	1,230,583	1,320,106	1,174,608
支払利息	△ 11,970	△ 4,790	△ 7,001	△ 9,320	△ 2,823	△ 4,225
(B) 有価証券売買損益	△ 602,974,322	△ 341,479,487	△ 608,408,723	△ 74,537,094	△ 341,045,003	△ 192,216,988
売買益	142,253,848	446,449,793	702,901,311	100,854,264	408,373,008	526,361,800
売買損	△ 745,228,170	△ 104,970,306	△ 94,492,588	△ 175,391,358	△ 67,328,005	△ 334,144,812
(C) 信託報酬等	△ 15,938,907	△ 13,436,741	△ 14,478,539	△ 15,250,664	△ 13,611,530	△ 14,610,317
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 486,604,212	△ 450,666,459	△ 712,171,295	△ 30,338,090	△ 441,578,479	△ 292,168,530
(E) 前期繰越損益金	△ 3,096,464,382	△ 3,631,521,900	△ 3,177,285,056	△ 2,483,938,815	△ 2,498,654,367	△ 2,077,813,407
(F) 追加信託差損益金	61,519,432	△ 23,518,654	△ 114,968,249	△ 265,582,352	△ 327,896,918	△ 381,404,083
(配当等相当額)	( 6,342,972,702)	( 6,235,344,961)	( 6,037,830,016)	( 5,999,860,624)	( 5,819,781,936)	( 5,574,015,433)
(売買損益相当額)	(△ 6,281,453,270)	(△ 6,258,863,615)	(△ 6,152,798,265)	(△ 6,265,442,976)	(△ 6,147,678,854)	(△ 5,955,419,516)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 3,521,549,162	△ 3,204,374,095	△ 2,580,082,010	△ 2,719,183,077	△ 2,384,972,806	△ 2,167,048,960
(H) 収益分配金	△ 170,695,265	△ 169,227,258	△ 165,180,626	△ 165,403,005	△ 162,071,557	△ 156,593,749
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,692,244,427	△ 3,373,601,353	△ 2,745,262,636	△ 2,884,586,082	△ 2,547,044,363	△ 2,323,642,709
追加信託差損益金	7,194,277	△ 73,672,186	△ 164,263,422	△ 326,110,173	△ 379,237,241	△ 428,891,465
(配当等相当額)	( 6,288,647,547)	( 6,185,191,429)	( 5,988,534,843)	( 5,939,332,803)	( 5,768,441,613)	( 5,526,528,051)
(売買損益相当額)	(△ 6,281,453,270)	(△ 6,258,863,615)	(△ 6,152,798,265)	(△ 6,265,442,976)	(△ 6,147,678,854)	(△ 5,955,419,516)
繰越損益金	△ 3,699,438,704	△ 3,299,929,167	△ 2,580,999,214	△ 2,558,475,909	△ 2,167,807,122	△ 1,894,751,244

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	116,370,110円	119,073,726円	115,885,453円	104,875,184円	110,731,234円	109,106,367円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	6,342,972,702	6,235,344,961	6,037,830,016	5,999,860,624	5,819,781,936	5,574,015,433
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	6,459,342,812	6,354,418,687	6,153,715,469	6,104,735,808	5,930,513,170	5,683,121,800
(f) 分配金	170,695,265	169,227,258	165,180,626	165,403,005	162,071,557	156,593,749
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,288,647,547	6,185,191,429	5,988,534,843	5,939,332,803	5,768,441,613	5,526,528,051
(h) 受益権総口数	17,069,526,546□	16,922,725,821□	16,518,062,666□	16,540,300,563□	16,207,155,782□	15,659,374,944□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（毎月分配型）為替ヘッジなし

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 入 比 率	純 資 産 額
	( 分 配 落 )	税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
	円	円		%	%	百万円
28期末 (2018年 9 月26日)	11,215	100	△	0.8	97.4	7,665
29期末 (2018年10月26日)	10,917	100	△	1.8	97.5	8,318
30期末 (2018年11月26日)	10,895	100		0.7	98.4	8,695
31期末 (2018年12月26日)	9,700	100	△	10.1	99.1	8,335
32期末 (2019年 1 月28日)	10,372	100		8.0	98.6	9,379
33期末 (2019年 2 月26日)	10,941	100		6.5	97.8	11,357
34期末 (2019年 3 月26日)	10,964	100		1.1	98.9	13,064
35期末 (2019年 4 月26日)	11,147	110		2.7	97.3	16,269
36期末 (2019年 5 月27日)	10,963	110	△	0.7	95.7	23,448
37期末 (2019年 6 月26日)	10,696	110	△	1.4	96.8	41,407
38期末 (2019年 7 月26日)	10,753	110		1.6	98.2	55,408
39期末 (2019年 8 月26日)	10,534	110	△	1.0	99.1	62,517
40期末 (2019年 9 月26日)	11,014	110		5.6	98.5	75,777
41期末 (2019年10月28日)	11,093	110		1.7	98.5	89,468
42期末 (2019年11月26日)	10,768	110	△	1.9	99.3	94,127
43期末 (2019年12月26日)	10,850	110		1.8	98.8	100,894
44期末 (2020年 1 月27日)	11,183	110		4.1	98.9	109,023
45期末 (2020年 2 月26日)	11,177	110		0.9	98.4	115,211
46期末 (2020年 3 月26日)	6,530	110	△	40.6	98.2	68,177
47期末 (2020年 4 月27日)	7,386	110		14.8	99.1	78,610
48期末 (2020年 5 月26日)	7,466	110		2.6	98.9	81,433
49期末 (2020年 6 月26日)	7,882	110		7.0	99.0	89,835
50期末 (2020年 7 月27日)	7,902	110		1.6	99.3	91,280
51期末 (2020年 8 月26日)	8,121	110		4.2	99.4	94,083
52期末 (2020年 9 月28日)	7,652	110	△	4.4	98.6	88,755
53期末 (2020年10月26日)	7,757	110		2.8	98.7	90,090
54期末 (2020年11月26日)	8,034	110		5.0	98.9	92,231
55期末 (2020年12月28日)	7,890	110	△	0.4	98.8	89,414
56期末 (2021年 1 月26日)	8,058	110		3.5	98.9	90,012
57期末 (2021年 2 月26日)	8,325	110		4.7	99.2	90,401

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

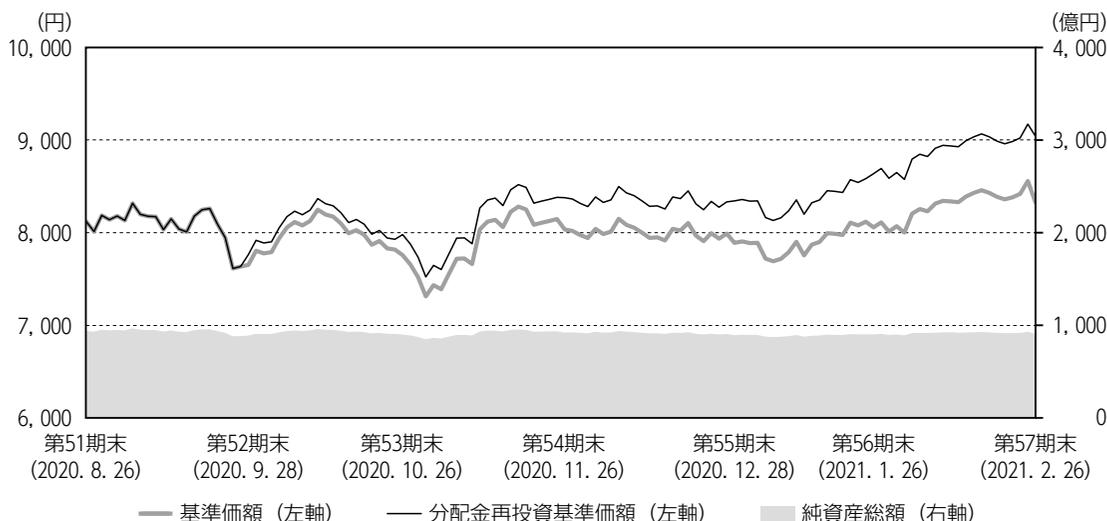
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第52期首：8,121円

第57期末：8,325円（既払分配金660円）

騰落率：11.3%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国リートおよびバンクローン市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		円	騰 落 率	
第52期	(期首) 2020年8月26日	8,121	—	99.4
	8月末	8,140	0.2	99.2
	(期末) 2020年9月28日	7,762	△ 4.4	98.6
第53期	(期首) 2020年9月28日	7,652	—	98.6
	9月末	7,777	1.6	98.3
	(期末) 2020年10月26日	7,867	2.8	98.7
第54期	(期首) 2020年10月26日	7,757	—	98.7
	10月末	7,433	△ 4.2	98.6
	(期末) 2020年11月26日	8,144	5.0	98.9
第55期	(期首) 2020年11月26日	8,034	—	98.9
	11月末	7,975	△ 0.7	98.6
	(期末) 2020年12月28日	8,000	△ 0.4	98.8
第56期	(期首) 2020年12月28日	7,890	—	98.8
	12月末	7,888	△ 0.0	98.5
	(期末) 2021年1月26日	8,168	3.5	98.9
第57期	(期首) 2021年1月26日	8,058	—	98.9
	1月末	8,070	0.1	98.9
	(期末) 2021年2月26日	8,435	4.7	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020. 8. 27 ~ 2021. 2. 26)

### ■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2020年9月にかけての米国リート市場は、米国大統領選挙を前にした警戒感の高まりなどから、軟調に推移しました。10月前半は、翌月の米国大統領選挙で民主党が勝利し、大規模な財政政策が実施されるとの期待感などから、米国リート市場は上昇しました。10月後半は、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大および広範な行動規制の再開などから世界経済停滞の懸念が広がり、米国リート市場は下落しました。11月に入ると、米国大統領選挙が大きな波乱もなく終了したことなどから堅調に推移しましたが、米国の大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことを発表すると、これまで新型コロナウイルスの影響を受けて大きく下落していたショッピングモールやホテル関連のリートが大きく上昇する一方で、堅調に推移してきた通信インフラやデータセンター、物流施設などのリートは下落傾向となりました。12月から当作成期末にかけては、長期金利の動向により上下したものの、市況はおおむね横ばいでの推移となりました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

企業の決算が市場予想を上回る傾向が継続したほか、新型コロナウイルス対策として多くの企業が流動性の確保やコストカットなどに努めたことが好感され、当作成期首より米国バンクローン市場は上昇しました。また、CLO（ローン担保証券）からの需要が回復する一方、新規発行は減少傾向となるなど、需給環境に大きな緩みが見られなかったことも支援材料となりました。2020年11月に入り米国大統領選挙が無事終了すると、政治的な不透明感が後退したことに加え、新型コロナウイルス用ワクチンの早期実用化期待が高まったことなどから、米国バンクローン市場は一段と上昇して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドルは対円で横ばいの結果となりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2020年12月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大による経済停滞の懸念などを背景に円高米ドル安が進行しました。その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発をめぐる明るいニュースなどを受けて円安米ドル高に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

（2020. 8. 27 ～ 2021. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	2020年8月27日 ～2020年9月28日	2020年9月29日 ～2020年10月26日	2020年10月27日 ～2020年11月26日	2020年11月27日 ～2020年12月28日	2020年12月29日 ～2021年1月26日	2021年1月27日 ～2021年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	110	110	110	110	110	110
対基準価額比率 (%)	1.42	1.40	1.35	1.38	1.35	1.30
当期の収益 (円)	67	68	67	63	65	68
当期の収益以外 (円)	42	41	42	46	44	41
翌期繰越分配対象額 (円)	3,025	2,984	2,942	2,896	2,851	2,810

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 67.18円	✓ 68.25円	✓ 67.82円	✓ 63.04円	✓ 65.14円	✓ 68.88円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 3,051.00	✓ 3,025.87	✓ 2,984.50	✓ 2,943.05	✓ 2,896.46	✓ 2,852.05
(d) 分配準備積立金	✓ 17.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,135.44	3,094.12	3,052.32	3,006.10	2,961.61	2,920.94
(f) 分配金	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,025.44	2,984.12	2,942.32	2,896.10	2,851.61	2,810.94

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト 2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第52期～第57期 (2020. 8. 27～2021. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,023円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	51	0.631	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

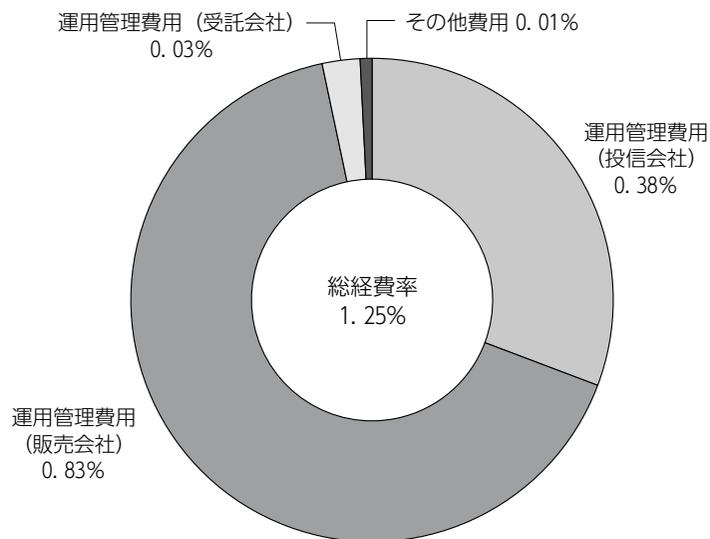
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

# ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

## ■売買および取引の状況

### 公社債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

決算期		第 52 期 ~ 第 57 期	
		買付額	売付額
外国	アメリカ 社債券	千アメリカ・ドル 29,362	千アメリカ・ドル 117,932 ( — )

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。  
 (注4) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 公社債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

第 52 期 ~ 第 57 期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc (アイルランド) 2025/1/19	千円 3,071,615	Star Helios Plc (アイルランド) 2025/1/19	千円 12,361,308

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	評価額		組入比率	うちB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 1,063,720	千アメリカ・ドル 843,849	千円 89,658,964	% 99.2	% —	% —	% 99.2	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		第 57 期 末			評 価 額		償還年月日
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 1,063,720	千アメリカ・ドル 843,849	千円 89,658,964	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2021年2月26日現在

項 目	第 57 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	89,658,964	97.1
コール・ローン等、その他	2,689,137	2.9
投資信託財産総額	92,348,101	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.25円です。

(注3) 第57期末における外貨建純資産（89,663,166千円）の投資信託財産総額（92,348,101千円）に対する比率は、97.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年9月28日)、(2020年10月26日)、(2020年11月26日)、(2020年12月28日)、(2021年1月26日)、(2021年2月26日) 現在

項 目	第52期末	第53期末	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末
(A)資産	90,149,452,953円	91,640,029,644円	93,872,277,322円	93,025,418,553円	91,758,252,161円	92,348,101,613円
コール・ローン等	2,570,402,286	2,669,499,618	2,626,101,000	2,783,883,255	2,695,634,387	2,605,412,726
公社債（評価額）	87,538,207,082	88,920,257,811	91,187,966,372	88,314,808,107	88,986,807,917	89,658,964,325
未収入金	—	—	—	1,859,895,000	—	—
その他未収収益	40,843,585	50,272,215	58,209,950	66,832,191	75,809,857	83,724,562
(B)負債	1,393,628,286	1,549,168,785	1,640,483,699	3,610,851,473	1,746,251,516	1,946,583,463
未払金	—	—	—	1,864,980,000	—	—
未払収益分配金	1,275,893,573	1,277,603,461	1,262,849,540	1,246,662,198	1,228,829,967	1,194,530,384
未払解約金	12,367,889	182,733,049	281,134,489	398,475,784	428,435,592	654,273,148
未払信託報酬	105,166,249	88,465,169	95,938,368	99,984,174	88,065,736	96,671,515
その他未払費用	200,575	367,106	561,302	749,317	920,221	1,108,416
(C)純資産総額（A－B）	88,755,824,667	90,090,860,859	92,231,793,623	89,414,567,080	90,012,000,645	90,401,518,150
元本	115,990,324,843	116,145,769,262	114,804,503,640	113,332,927,154	111,711,815,210	108,593,671,352
次期繰越損益金	△ 27,234,500,176	△ 26,054,908,403	△ 22,572,710,017	△ 23,918,360,074	△ 21,699,814,565	△ 18,192,153,202
(D)受益権総口数	115,990,324,843口	116,145,769,262口	114,804,503,640口	113,332,927,154口	111,711,815,210口	108,593,671,352口
1万口当り基準価額（C/D）	7,652円	7,757円	8,034円	7,890円	8,058円	8,325円

\* 第51期末における元本額は115,855,467,661円、当作成期間（第52期～第57期）中における追加設定元本額は8,169,120,238円、同解約元本額は15,430,916,547円です。

\* 第57期末の計算口数当りの純資産額は8,325円です。

\* 第57期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,192,153,202円です。

# ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

## ■損益の状況

	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
第52期 自2020年8月27日 至2020年9月28日						
第53期 自2020年9月29日 至2020年10月26日						
第54期 自2020年10月27日 至2020年11月26日						
第55期 自2020年11月27日 至2020年12月28日						
第56期 自2020年12月29日 至2021年1月26日						
第57期 自2021年1月27日 至2021年2月26日						
項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(A) 配当等収益	885,389,061円	821,468,738円	795,674,945円	815,406,136円	748,631,248円	765,948,875円
受取利息	876,845,440	812,148,091	787,890,257	807,048,870	739,861,901	758,330,664
その他収益金	8,603,607	9,349,926	7,819,284	8,399,988	8,791,045	7,634,347
支払利息	△ 59,986	△ 29,279	△ 34,596	△ 42,722	△ 21,698	△ 16,136
(B) 有価証券売買損益	△ 4,930,928,564	1,734,495,146	3,735,402,994	△ 1,094,841,338	2,436,828,545	3,404,804,224
売買益	44,076,789	2,341,719,949	4,100,325,930	29,225,284	2,448,914,850	3,451,096,513
売買損	△ 4,975,005,353	△ 607,224,803	△ 364,922,936	△ 1,124,066,622	△ 12,086,305	△ 46,292,289
(C) 信託報酬等	△ 106,110,690	△ 89,371,949	△ 96,859,651	△ 100,882,586	△ 88,941,729	△ 97,569,178
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 4,151,650,193	2,466,591,935	4,434,218,288	△ 380,317,788	3,096,518,064	4,073,183,921
(E) 前期繰越損益金	△ 27,893,555,185	△ 32,726,739,267	△ 30,378,217,337	△ 25,836,969,375	△ 26,291,576,276	△ 23,019,408,007
(F) 追加信託差損益金	6,086,598,775	5,482,842,390	4,634,138,572	3,545,589,287	2,724,073,614	1,948,601,268
(配当等相当額)	( 35,388,754,772)	( 35,144,203,826)	( 34,263,447,833)	( 33,354,552,684)	( 32,356,972,094)	( 30,971,546,531)
(売買損益相当額)	(△ 29,302,155,997)	(△ 29,661,361,436)	(△ 29,629,309,261)	(△ 29,808,963,397)	(△ 29,632,898,480)	(△ 29,022,945,263)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 25,958,606,603	△ 24,777,304,942	△ 21,309,860,477	△ 22,671,697,876	△ 20,470,984,598	△ 16,997,622,818
(H) 収益分配金	△ 1,275,893,573	△ 1,277,603,461	△ 1,262,849,540	△ 1,246,662,198	△ 1,228,829,967	△ 1,194,530,384
次期繰越損益金 (G + H)	△ 27,234,500,176	△ 26,054,908,403	△ 22,572,710,017	△ 23,918,360,074	△ 21,699,814,565	△ 18,192,153,202
追加信託差損益金	5,790,083,595	4,997,983,523	4,149,955,422	3,013,450,639	2,222,973,589	1,502,106,058
(配当等相当額)	( 35,092,239,592)	( 34,659,344,959)	( 33,779,264,683)	( 32,822,414,036)	( 31,855,872,069)	( 30,525,051,321)
(売買損益相当額)	(△ 29,302,155,997)	(△ 29,661,361,436)	(△ 29,629,309,261)	(△ 29,808,963,397)	(△ 29,632,898,480)	(△ 29,022,945,263)
繰越損益金	△ 33,024,583,771	△ 31,052,891,926	△ 26,722,665,439	△ 26,931,810,713	△ 23,922,788,154	△ 19,694,259,260

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
(a) 経費控除後の配当等収益	779,278,371円	792,744,594円	778,666,390円	714,523,550円	727,729,942円	748,035,174円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	35,388,754,772	35,144,203,826	34,263,447,833	33,354,552,684	32,356,972,094	30,971,546,531
(d) 分配準備積立金	200,100,022	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	36,368,133,165	35,936,948,420	35,042,114,223	34,069,076,234	33,084,702,036	31,719,581,705
(f) 分配金	1,275,893,573	1,277,603,461	1,262,849,540	1,246,662,198	1,228,829,967	1,194,530,384
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	35,092,239,592	34,659,344,959	33,779,264,683	32,822,414,036	31,855,872,069	30,525,051,321
(h) 受益権総口数	115,990,324,843口	116,145,769,262口	114,804,503,640口	113,332,927,154口	111,711,815,210口	108,593,671,352口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
		110円	110円	110円	110円	110円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	( 分 配 落 )	税 込 分	込 配 金	期 騰 落 中 率		
6 期 末 (2019年 2 月26日)	円 10,720		円 300		% 94.9	百万円 755
7 期 末 (2019年 8 月26日)	11,111		300		96.5	1,716
8 期 末 (2020年 2 月26日)	11,461		300		98.4	2,618
9 期 末 (2020年 8 月26日)	9,343		300	△	99.8	2,457
10 期 末 (2021年 2 月26日)	10,089		300		96.6	2,131

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

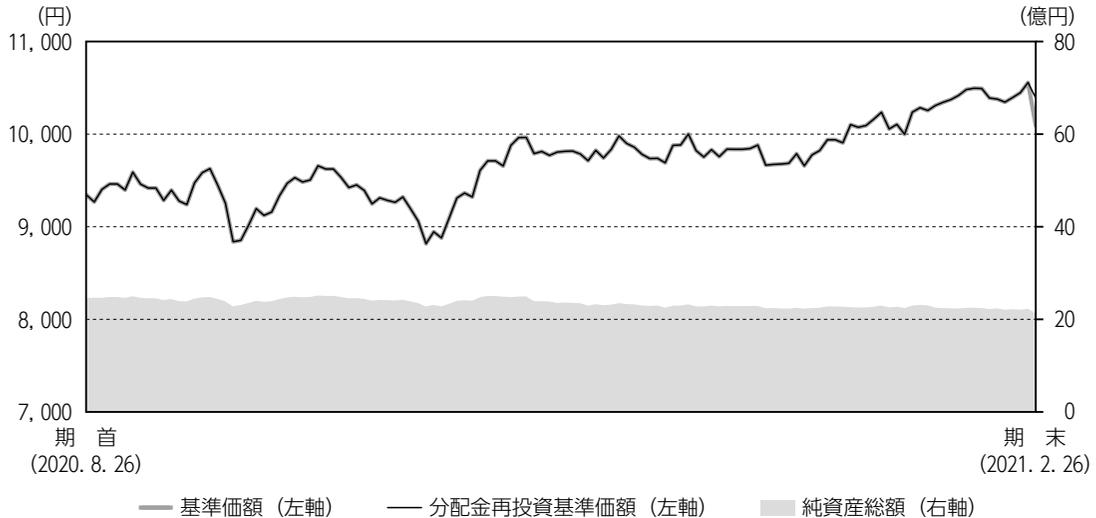
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,343円

期末：10,089円（分配金300円）

騰落率：11.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国リートおよびバンクローン市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2020年 8月26日	9,343	—	99.8 %
8月末	9,462	1.3	96.9
9月末	9,123	△ 2.4	97.9
10月末	8,945	△ 4.3	96.9
11月末	9,786	4.7	96.0
12月末	9,844	5.4	98.6
2021年 1月末	10,106	8.2	98.9
(期 末) 2021年 2月26日	10,389	11.2	96.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 8. 27 ~ 2021. 2. 26）

### ■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2020年9月にかけての米国リート市場は、米国大統領選挙を前にした警戒感の高まりなどから、軟調に推移しました。10月前半は、翌月の米国大統領選挙で民主党が勝利し、大規模な財政政策が実施されるとの期待感などから、米国リート市場は上昇しました。10月後半は、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大および広範な行動規制の再開などから世界経済停滞の懸念が広がり、米国リート市場は下落しました。11月に入ると、米国大統領選挙が大きな波乱もなく終了したことなどから堅調に推移しましたが、米国の大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことを発表すると、これまで新型コロナウイルスの影響を受けて大きく下落していたショッピングモールやホテル関連のリートが大きく上昇する一方で、堅調に推移してきた通信インフラやデータセンター、物流施設などのリートは下落傾向となりました。12月から当作成期末にかけては、長期金利の動向により上下したものの、市況はおおむね横ばいでの推移となりました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

企業の決算が市場予想を上回る傾向が継続したほか、新型コロナウイルス対策として多くの企業が流動性の確保やコストカットなどに努めたことが好感され、当作成期首より米国バンクローン市場は上昇しました。また、CLO（ローン担保証券）からの需要が回復する一方、新規発行は減少傾向となるなど、需給環境に大きな緩みが見られなかったことも支援材料となりました。2020年11月に入り米国大統領選挙が無事終了すると、政治的な不透明感が後退したことに加え、新型コロナウイルス用ワクチンの早期実用化期待が高まったことなどから、米国バンクローン市場は一段と上昇して当作成期末を迎えました。

### ■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国は政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を0.00~0.25%で維持しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2020. 8. 27 ~ 2021. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2020年8月27日 ～2021年2月26日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>300</b>
対基準価額比率	（％）	2.89
当期の収益	（円）	300
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,204

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	476.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		2,591.12
(d) 分配準備積立金		436.96
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		3,504.33
(f) 分配金		300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		3,204.33

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 8. 27～2021. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	61円	0.626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は9,706円です。</b>
（投 信 会 社）	(19)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(40)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	62	0.638	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

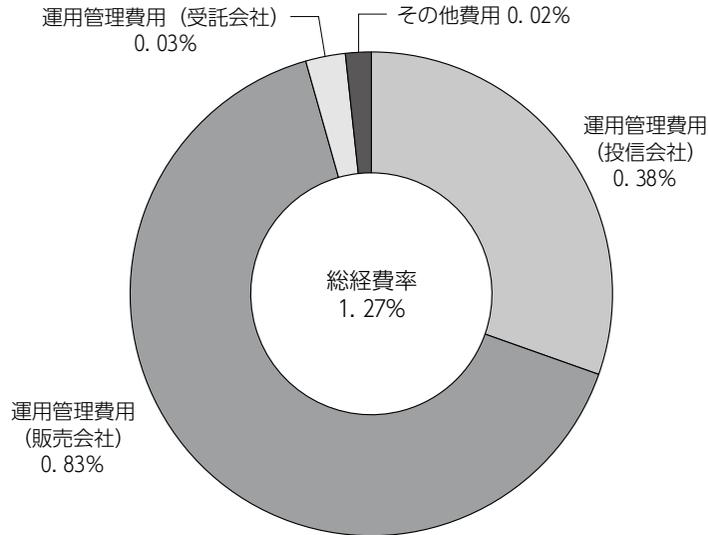
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル 1,485	千アメリカ・ドル 6,523
	社債券	( )	( )

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。  
 (注4) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
Star Helios Plc（アイルランド）2025/1/19	155,161	Star Helios Plc（アイルランド）2025/1/19	685,453

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区 分	額面金額	評 価 額		当 期 末		残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 24,440	千アメリカ・ドル 19,388	千円 2,060,001	% 96.6	% —	% —	% 96.6	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千円	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 24,440	千アメリカ・ドル 19,388	千円 2,060,001	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2021年2月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,060,001	% 91.9
コール・ローン等、その他	181,166	8.1
投資信託財産総額	2,241,168	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.25円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（2,110,648千円）の投資信託財産総額（2,241,168千円）に対する比率は、94.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年2月26日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>4,338,215,219円</b>
コール・ローン等	129,212,273
公社債（評価額）	2,060,001,775
未収入金	2,147,751,516
その他未収収益	1,249,655
<b>(B) 負債</b>	<b>2,206,569,449</b>
未払金	2,106,882,329
未払収益分配金	63,383,554
未払解約金	21,483,062
未払信託報酬	14,722,877
その他未払費用	97,627
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>2,131,645,770</b>
元本	2,112,785,165
次期繰越損益金	18,860,605
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,112,785,165口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	10,089円

\* 期首における元本額は2,630,794,655円、当作成期間中における追加設定元本額は182,735,343円、同解約元本額は700,744,833円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,089円です。

■損益の状況

当期 自2020年8月27日 至2021年2月26日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>107,629,965円</b>
受取利息	106,674,689
その他収益金	963,647
支払利息	△ 8,371
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>122,552,263</b>
売買益	208,057,964
売買損	△ 85,505,701
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 14,992,748</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>215,189,480</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 297,708,920</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>164,763,599</b>
（配当等相当額）	（ 547,449,882）
（売買損益相当額）	（△ 382,686,283）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>82,244,159</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 63,383,554</b>
次期繰越損益金（G＋H）	18,860,605
追加信託差損益金	164,763,599
（配当等相当額）	（ 547,449,882）
（売買損益相当額）	（△ 382,686,283）
分配準備積立金	129,557,798
繰越損益金	△ 275,460,792

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	100,619,356円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	547,449,882
(d) 分配準備積立金	92,321,996
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	740,391,234
(f) 分配金	63,383,554
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	677,007,680
(h) 受益権総口数	2,112,785,165口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	300円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

(年2回決算型) 為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	( 分 配 落 )	税 込 配 金	期 騰 落	中 率		
6 期 末 (2019年 2 月26日)	円 11,077	円 350		% 1.5	% 98.1	百万円 1,414
7 期 末 (2019年 8 月26日)	10,954	350		2.0	99.1	6,086
8 期 末 (2020年 2 月26日)	11,970	350		12.5	99.3	10,363
9 期 末 (2020年 8 月26日)	9,205	350	△	20.2	99.1	9,876
10 期 末 (2021年 2 月26日)	9,902	350		11.4	99.1	8,834

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

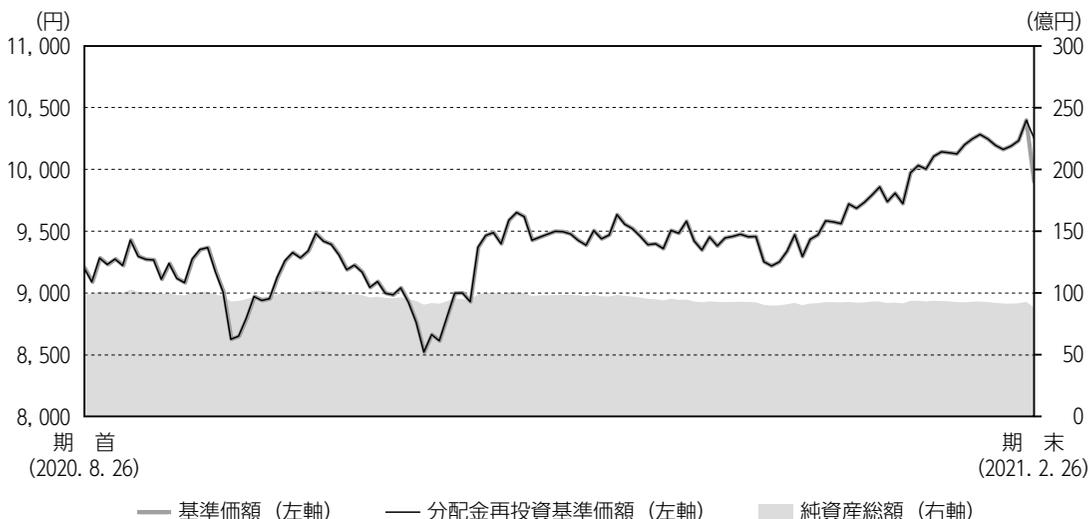
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：9,205円

期末：9,902円（分配金350円）

騰落率：11.4%（分配金込み）

#### 基準価額の変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国リートおよびバンクローン市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2020年 8月26日	9,205	—	99.1 %
8月末	9,230	0.3	97.7
9月末	8,939	△ 2.9	98.2
10月末	8,663	△ 5.9	98.9
11月末	9,425	2.4	98.5
12月末	9,455	2.7	98.1
2021年 1月末	9,808	6.6	98.9
(期 末) 2021年 2月26日	10,252	11.4	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020. 8. 27 ~ 2021. 2. 26)

### ■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2020年9月にかけての米国リート市場は、米国大統領選挙を前にした警戒感の高まりなどから、軟調に推移しました。10月前半は、翌月の米国大統領選挙で民主党が勝利し、大規模な財政政策が実施されるとの期待感などから、米国リート市場は上昇しました。10月後半は、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大および広範な行動規制の再開などから世界経済停滞の懸念が広がり、米国リート市場は下落しました。11月に入ると、米国大統領選挙が大きな波乱もなく終了したことなどから堅調に推移しましたが、米国の大手製薬会社が新型コロナウイルスのワクチン開発において良好な治験結果が得られたことを発表すると、これまで新型コロナウイルスの影響を受けて大きく下落していたショッピングモールやホテル関連のリートが大きく上昇する一方で、堅調に推移してきた通信インフラやデータセンター、物流施設などのリートは下落傾向となりました。12月から当作成期末にかけては、長期金利の動向により上下したものの、市況はおおむね横ばいでの推移となりました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

企業の決算が市場予想を上回る傾向が継続したほか、新型コロナウイルス対策として多くの企業が流動性の確保やコストカットなどに努めたことが好感され、当作成期首より米国バンクローン市場は上昇しました。また、CLO（ローン担保証券）からの需要が回復する一方、新規発行は減少傾向となるなど、需給環境に大きな緩みが見られなかったことも支援材料となりました。2020年11月に入り米国大統領選挙が無事終了すると、政治的な不透明感が後退したことに加え、新型コロナウイルス用ワクチンの早期実用化期待が高まったことなどから、米国バンクローン市場は一段と上昇して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

米ドルは対円で横ばいの結果となりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2020年12月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大による経済停滞の懸念などを背景に円高米ドル安が進行しました。その後は、新型コロナウイルスのワクチン開発をめぐる明るいニュースなどを受けて円安米ドル高に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

（2020. 8. 27 ~ 2021. 2. 26）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2020年8月27日 ～2021年2月26日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>350</b>
対基準価額比率	（％）	3.41
当期の収益	（円）	350
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,525

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 469.84円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00
(c) 収益調整金	2,979.40
(d) 分配準備積立金	425.95
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,875.19
(f) 分配金	350.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,525.19

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 8. 27~2021. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は9,426円です。</b>
（投 信 会 社）	(18)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	60	0.636	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

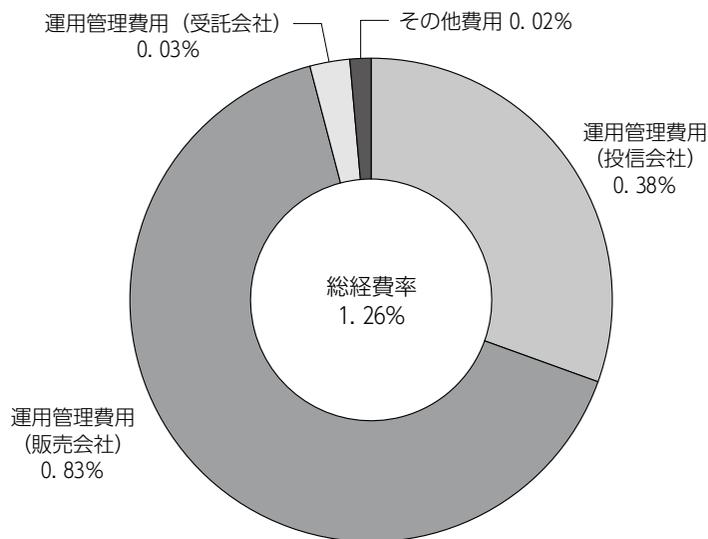
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

公社債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
		2,104	17,301
		(	—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。  
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2020年8月27日から2021年2月26日まで)

当期		前期	
買付	金額	売付	金額
銘柄	千円	銘柄	千円
Star Helios Plc（アイルランド）2025/1/19	220,872	Star Helios Plc（アイルランド）2025/1/19	1,813,881

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	評価額		当期		期末		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 103,840	千アメリカ・ドル 82,376	千円 8,752,478	% 99.1	% —	% —	% 99.1	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジなし

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	103,840	82,376	8,752,478	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2021年2月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	8,752,478	94.5
コール・ローン等、その他	513,618	5.5
投資信託財産総額	9,266,097	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.25円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(8,752,517千円)の投資信託財産総額(9,266,097千円)に対する比率は、94.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年2月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,266,097,401円
コール・ローン等	508,806,104
公社債（評価額）	8,752,478,900
その他未収収益	4,812,397
(B) 負債	431,339,731
未払収益分配金	312,272,491
未払解約金	58,702,210
未払信託報酬	59,967,113
その他未払費用	397,917
(C) 純資産総額（A－B）	8,834,757,670
元本	8,922,071,183
次期繰越損益金	△ 87,313,513
(D) 受益権総口数	8,922,071,183口
1万口当り基準価額（C/D）	9,902円

\* 期首における元本額は10,729,412,861円、当作成期間中における追加設定元本額は774,552,091円、同解約元本額は2,581,893,769円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,902円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は87,313,513円です。

■損益の状況

当期 自2020年8月27日 至2021年2月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	446,991,152円
受取利息	443,202,105
その他収益金	3,821,585
支払利息	△ 32,538
(B) 有価証券売買損益	531,688,028
売買益	604,645,346
売買損	△ 72,957,318
(C) 信託報酬等	△ 60,862,756
(D) 当期損益金（A+B+C）	917,816,424
(E) 前期繰越損益金	△ 1,434,189,088
(F) 追加信託差損益金	741,331,642
(配当等相当額)	( 2,658,244,891)
(売買損益相当額)	(△ 1,916,913,249)
(G) 合計（D+E+F）	224,958,978
(H) 収益分配金	△ 312,272,491
次期繰越損益金（G+H）	△ 87,313,513
追加信託差損益金	741,331,642
(配当等相当額)	( 2,658,244,891)
(売買損益相当額)	(△ 1,916,913,249)
分配準備積立金	486,961,599
繰越損益金	△ 1,315,606,754

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	419,195,131円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,658,244,891
(d) 分配準備積立金	380,038,959
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,457,478,981
(f) 分配金	312,272,491
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,145,206,490
(h) 受益権総口数	8,922,071,183口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	350円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。